

2024 研修医・専攻医募集案内

ONE

一人ひとり、一歩ずつ。



進もう、一緒に。



一人ひとり、一歩ずつ。

ONE

ONE Package

“世界に羽ばたく人材”を独自のプログラムで育成します。

臨床研究、国際誌投稿、国内外留学等、個人の願望、将来のキャリア形成に応じる柔軟なプログラムにより、“One Package”としての卒直後研修5年間をサポートいたします。

初期、後期の一貫研修を通してこの期間に当院でどれだけの臨床能力でアドバンテージがとれるか。common diseaseから希少な症例まで経験でき、今後の医師生活において重要な基盤を築けることができるプログラムで、卒後5、6年の間に臨床医として同世代の医師達を大きく凌駕する力をそれぞれの分野で身につけ、活躍しましょう。

プログラムの特徴

- 主役は研修医・専攻医
- 指導医との顔の見える関係
- 重層屋根瓦方式の指導
- 充実した高度医療の実践
- Common Disease
- 恵まれた研修環境
- 初期～三次救急医療の充実

230名の医師のうち、100名が若手医師“One Team”でサポートします。

高度救命救急センター

重篤な救急患者を24時間体制で受入

総合周産期母子医療センター

幅広い周産期医療を提供

がんゲノム医療拠点病院

がん診療と遺伝診療体制を整備

初期研修医

研修医基本理念

すべての研修医が確かな知識と医療技術を礎に成長を続け、患者に信頼され安心を与え、自信をもって医療を行うことができる医師に育つ。

基本方針

- 1 基本的な手技・知識・問題解決能力を身につける
- 2 Professionalな医師を目指す
- 3 コミュニケーション能力を身につける
- 4 山梨の医療を考える
- 5 学術的探求と臨床研究能力を習得する



初期研修医について P05~P07

専攻医

専門研修プログラムの概要

中央病院では内科、外科、救急科、総合診療科、整形外科、小児科の専門研修プログラム、北病院では精神科の専門研修プログラムの基幹病院としています。専門医を習得する3年間で目安ですが、各専攻医のニーズに応じたプログラムが作成可能です。

基本方針

- 1 多くの臨床経験を積み重ねる
- 2 専門医資格取得を指導する
- 3 臨床研究を英文誌に投稿することを目標とする
- 4 海外留学の物心両面の援助を行う



専攻医について P08~P17

目指したい 未来へ。



From Board Chairman



重層屋根瓦指導で飛躍へのPlatform

この病院を14年間で見てきました。客観的に見るのが難しくつつありますが、自身の教育体験、米国二大学(Yale, USC)6年、日本二大学(千葉大16年、東大17年)33年から鑑みても、「全方位/中核病院でのスタートは、将来のインスピエとなる」ことを保証します。

全医師数230は卒業研修として指導を行うOne "Unified" Teamには最適な数字と考えます。さらに、臨床研究、国際誌投稿、国内外留学など、将来のキャリア形成に対応できるよう柔軟なプログラムにより、「One Package」としての卒業後研修2~5年間をサポートいたします。

山梨県立病院機構 理事長 東京大学名誉教授
小俣 政男

From Chief of Medical Clinic

当院は高度救命救急センター・総合周産器センターを備え、また2023年4月からは全国で32施設のみが選ばれたがんゲノム医療拠点病院の一つとなっています。またドクターヘリを有する県内唯一の三次救急病院でもあります。医師数は現在226名で、うち専攻医53名・研修医46名と皆様の仲間となる若手医師が多く在籍しています。毎月院内全体のスタッフを対象に開催する抄読会であるMSGRR (Medical Surgical Ground Rounds)、年に1回1年目研修医を対象とした症例報告および2年目の研修医を対象のテーマをきめた臨床研究発表会をはじめ、多くの研修会を開催しています。さらに希望がある専攻医は週に1回ゲノム解析センターで遺伝子解析を行う研究にあたっています。一方、アメニティーの充実も図り、研修医の住居である防音が完璧に施されたレジデントクォーターを完備し、また海外留学制度も充実しています。

医学生、初期研修医の皆さん、当院での初期研修・後期研修を開始し、是非我々の仲間に加わりませんか。



山梨県立中央病院 院長
小嶋 裕一郎



山梨県立北病院 院長
宮田 量治

専攻医プログラムの3年間は精神科医としての一生を決定づけると言ってもよい重要な期間です。北病院では、乳幼児・10歳未満の児童を除くすべての年代/精神疾患に対応し、初診の3割は20歳未満の思春期例です。救急急性期症例、指定医症例・専門医症例を無理なく経験でき、アルコール依存症や司法精神医学なども身近なものとして体験できます。精神科医として第一歩を踏み出そうとしている皆さんにはうってつけの病院と自負しています。

よい医師は、患者さんが育てるものです。たくさんの経験を通し、試行錯誤する過程も体験しながら、力をつけていきます。そのためには、最先端の情報を集めたりまとめたりすることも必要となります。研修中は大変なこともあるかもしれませんが、皆さんの一生の宝となるようにスタッフ一同頑張りますので、ぜひ一緒に新しい精神科臨床を切り開きましょう。

恵まれた研修環境

1. 総合研修プログラム

- 選択診療科について**
 - 2年間の研修期間のうち48週間の自由選択期間を活用し、一人ひとりの多様なニーズに応えることが可能です。
- 必修科目について**
 - 内科研修では「循環器・糖尿病内分泌」「呼吸器」「消化器」「腎臓・リウマチ膠原病」「総合診療・感染症」の中から3つを選択していただけます。
 - 救急科研修では高度救命救急センターにて三次救急を8週間研修します。
 - 精神科は専門病院である山梨県立北病院で研修を行います。
 - 地域医療研修では9つの地域医療拠点病院から研修場所を選択可能です。
 - 2年次に行う一般外来研修では、院内・外の指導医のもと継続的な診察が経験できます。

2. 産婦人科・小児科重点プログラム

- 充実した小児科・小児外科・新生児内科研修及び、産科・婦人科研修のさらなるニーズに合った研修スケジュールが選択できます。
- 当プログラムのみ山梨大学小児科での研修が可能です。

3. 研修プログラムの基本スケジュール

	1週~4週	5週~8週	9週~12週	13週~16週	17週~20週	21週~24週	25週~28週	29週~32週	33週~36週	37週~40週	41週~44週	45週~48週	49週~52週
総合研修プログラム													
1年次	選択科	内科1		内科2		内科3		救急科	麻酔科	外科	小児科	産婦人科	
2年次	麻酔科	選択科	地域医療					選択科					

●産婦人科・小児科重点プログラム 16週分 選択科 ▶産婦人科および小児科



From Program manager

当院は、救急医療および各分野での最先端医療を提供する地域中核病院であるとともに、それを支える教育、学術研究に力を入れています。医師にとって大切な初期研修期間を豊富な症例を経験できる当院で過ごし、将来への礎を築きましょう。

教育研修センター統括部長 飯室 勇二

渡辺 絢香

山梨大学 卒業

1年次研修医

私は様々な疾患に対応する力をつけ、医師の基盤を築きたいと考え当院を志願しました。

当院は上級医の先生方やコメディカルの方々に恵まれ、わからないことや困ったことがあれば相談でき、指導していただける環境があります。その中で、研修医も積極的に診療に参加し、経験を積むことができます。特に二次救急では研修医が主体となり診察を行い、検査や鑑別、そしてその後の方針まで考える機会が多いです。さらにフィードバックをしっかりと受けられるため自身の成長につながり、実践的な力を養うことができます。

研修医となり数か月が経ちまだまだわからないことだらけですが、同期と支えあい、また先輩研修医の先生方の背中を追いかけて充実した研修生活を過ごしています。少しでも当院に興味をお持ちの方はぜひ一度当院にいらしてみてください。皆様と一緒に働ける日を楽しみにしています。



保坂 彩夏

山梨大学 卒業

2年次研修医

私が研修先として当院を志望した理由は、救急対応のできる医師になりたいという思いと研修医が主体的に働く姿に憧れを抱いたからです。1年間の研修を経て、診療や手術などに携わせていただく中で様々な経験を重ね、改めてここを選んでよかったと日々感じています。特に二次救急では研修医自ら診察から治療の検討までを行うため戸惑うこともありますが、上級医や各診療科にすぐに相談ができたり症例の振り返りを行ったりと、安心して診療できる環境や全体で高めあえる体制が整っています。また、当院にはロールモデルとなる先生方が沢山おり、将来目指す医師像を思い描きながら充実した研修生活を送ることができています。

山梨の中核である当院での研修は皆さんにとって必ず実り多いものになるはず。当院にご興味のある方はぜひ見学にいらしてください。皆さんと一緒に働ける日を心待ちにしています。



反頭 智裕

山梨大学 卒業

2年次研修医

山梨県立中央病院の初期臨床研修の、最大の魅力は二次救急にあると思います。特に当院の二次救急は大量の患者様が来院されます。初めは私も上級医と2年目研修医についていだけで精一杯でした。しかし患者様の受け入れから検査、初期治療そして専門医へのコンサルトまで研修医主体で数多くの症例で経験できます。そのため自分が目の前の患者様を助けるんだという責任感とやりがいも芽生え、積極的に勉強していく姿勢が身につきます。もちろん診療を行う上で反省点もあります。ですが、多くのアドバイスを上級医や常駐の救急科の先生からいただき、また気軽に相談できます。その上毎週救急科の先生方と研修医全員で症例検討会もあるため、各々の反省を共有して日々成長し、研修を終えた後も即戦力として働く力を身につけられます。

ぜひ、山梨県立中央病院で共に働きましょう。



麦倉 彬

北里大学 卒業

1年次研修医

総合診療科での見学では、研修医が主体となり疾患の鑑別や治療へのアプローチを考える姿を見て、他の病院にはない魅力を感じました。二次救急では研修医がFirst touchを任せられます。能動的に考えて動く機会の多いこの病院で研修を積むことにより、確かな技術や知識を持った医師として成長できると考えました。実際に研修が始まってからは、上級医の先生のみならず、身近な存在である2年目研修医の先生にお世話になる機会が多いです。空き時間にはカルテの使い方から、採血やルート、FASTの当て方、縫合の仕方といった基本的な手技を親身に教えてくれます。

私はまだまだ未熟ですが、少しずつ充実した日々を送っています。私は出身も大学も県外ですが、この病院を研修先を選び本当に良かったと感じています。来年、共に働ける日を心待ちにしています。





内科医からのメッセージ

優れた指導医と豊富な症例のもとで深める臨床研究により、磨かれるリサーチマインド。研修内容を自由を選択できることも魅力。

募集は6名です。2022年度、2023年度は4名ずつの専攻医が当院プログラムに参加しています。山梨大学、東京医科歯科大学、千葉大学、杏林大学の連携施設でもあり、現在18名の内科専攻医が活躍しています。43名の初期臨床研修医と共に若い力が合わさって、臨床技術を高め、研究マインドを高めあえる現場です。医療人としての基礎を固め、世界に羽ばたいていく。そんなスピリッツを持った人材を待っています。



内科専門研修プログラム統括責任者
梅谷 健

育成プログラムの概要



初年度から自由度の高い研修が可能であり、
早めにサブスペシャリティを目指す場合にも対応。
二次救急経験により総合内科的力を身につけることもできる。

地域医療の最後の砦として、地域密着型の医療を提供すると同時に、山梨県のようなセンター機能を担うなど、密度の高い専門医療を行っています。最前線のゲノム解析を行う「ゲノム解析センター」を有し、専攻医も学会活動で発表するなどやりに満ちた環境です。各領域の専門医に対してリアルタイムに相談が可能で、躍動感ある医療現場への参加が実感できます。



救急科医からのメッセージ

山梨県唯一の救命救急センターで積む研鑽。サブスペシャリティとして
数多くの専門医を取得し、術者・担当医として退院まで自己完結を目指す。

当センターは山梨県唯一の救命救急センター及び基幹災害拠点病院として県内の救急医療の最後の砦、災害時には初動チームとして動いています。担当医制ではありますが、休日は完全なOFFが取れ、プライベートの時間が確保できます。女性医師も複数名在籍しており、体力面の不安や出産・育児への負担にも配慮します。当センターは、「こんな重症患者も救うことができるのだ」という経験が積めるやりがいのある環境です。



救急科専門研修プログラム統括責任者
岩瀬 史明

育成プログラムの概要



連携病院との豊富な人事交流で
お互い刺激しながら救急医療の研鑽を積むことができます！

当院は山梨県全域より年間2,000例以上の救急患者を受け入れています。外因性疾患はもとより内因性の重症疾患も経験でき、特に重症外傷・多発外傷は全県の症例が集まるため、全国的にも引けを取らないトラウマセンターとして機能しています。ドクターカー・ドクターヘリによる病院前診療から、緊急手術・IVR、集中治療室における術後管理・集中治療管理までを一貫して実施。サブスペシャリティとして数多くの専門医を取得した医師が在籍し、術者・担当医として退院まで自己完結を目指しています。他科と密な連携を図りながら専門性の高い疾患にも対応します。また県内外の多数の施設と連携し、ER、集中治療、地域医療を行う中で救急医として幅広い臨床経験を積むことができます。救急科専門医を取得した後は、ダブルボードを目指すことも可能です。



外科医からのメッセージ

山梨の基幹病院として急性期・高度医療を担う。
多くの症例数を経験でき、学術的な研修も十分に行える体制が整っている。

当院は山梨県の基幹病院として急性期・高度医療を担っています。山梨県民に的確な「ロボット支援手術やゲノム医療」などの先端医療を提供するとともに、高いレベルの医療を支えることができる外科医を育成することを使命としています。外科医としての第一歩を踏み出す若者が、元気に将来の希望をもって働き、研修を積むことができるプログラムを提供できるよう指導医が一丸となって取り組んでいます。



外科専門研修プログラム統括責任者
羽田 真朗

育成プログラムの概要

“魅力ある外科”へ当院で一步を踏み出そう

外科医を必要とする患者さんは非常に多く、また習得すべき手術方法も進化し続けています。外科は、天職として選択するには、大変魅力ある診療科です。我々と一緒に魅力ある外科の道に踏み出しましょう。消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、および乳腺外科のいずれかをサブスペシャリティとし、それに連動した研修スケジュールを設定することができます。一方、サブスペシャリティを特定しない外科全般の研修も可能です。すべての領域において十分な症例数を臓器専門医指導のもとに経験することができ、学術的な研修も十分にできる体制をめざしています。当院の年間外科手術数は約2,000例、3年間で12名の専攻医を受け入れることができます。2024年度は4名を定員として募集いたします。山梨県内の11病院が連携施設となっており、6か月を連携病院で、2年6か月は当院で研修する予定です。専攻医のサブスペシャリティ研修の希望に合わせ、研修スケジュールを組むことができます。※当院では、「da Vinci Xi」などのロボット支援手術や、ゲノム医療などの高度医療に興味のある若手医師を積極的に募集しています。



※当院では最新のロボット支援手術「da Vinci Xi」の手術を行っています。



総合診療専門医からのメッセージ

幅広い領域を診る専門家として、問診・診療を徹底し、
オールラウンダーとして医療に貢献

「よくある病気、困っていることなら何でも診ることができる」というのは、逆説的ですが、専門家でないとできません。総合診療プログラムでは、比較的大きな病院で活躍できる総合内科医を育てます。慢性・急性期・身体・精神・社会的問題を問わず、中枢神経・循環器・呼吸器・腎臓・消化器などの臓器も問わずオールラウンダーとして活躍できる総合診療内科医と一緒に目指しませんか？



総合診療専門医研修プログラム統括責任者
三河 貴裕

育成プログラムの概要

慢性・急性期・身体・精神・社会的問題を問わず、ひとつの臓器にとどまらず、
全人的医療を目指すオールラウンダーとして活躍を

まず山梨県立中央病院総合診療科・感染症科で病棟診療、外来診療をみっちり研修します。後期研修1年目ではどんな患者さんでも問診と診察を徹底し、診断を付ける方略を身につけます。2年目では身につけたスキルを地域医療機関で実践し自分の得手不得手を確認します。3年目は仕上げです。中堅医師として若手医師の教育、マネジメントやリーダーシップを学び実践します。プログラム終了後は、総合診療専門医受験資格を得て、病棟総合医となるか、サブスペシャリティとして内科プログラムに参加することも可能。また、当科は県内唯一の日本感染症学会認定施設ですので、感染症科医を目指すこともできます。



プログラムの全体構成(月単位の換算による)

総合診療専門研修	総合診療専門研修I 9カ月	領域別研修	内科6カ月 小児科3カ月	総合診療専門研修II 9カ月	救急科3カ月 その他6カ月
----------	---------------	-------	-----------------	----------------	------------------



小児科医からのメッセージ

多様な小児疾患診療と総合周産期センターでの新生児医療を担う。
地域小児医療の経験やサブスペシャリティの基礎研修も可能。

当院は山梨県の中核病院であり、小児科は急性期疾患を中心に一次から三次医療まで多様な症例を診療しています。新生児内科は総合周産期母子医療センターの一翼を担っており、超未熟児を含めた重症新生児の高度医療にあたっています。山梨大学小児科や地域医療施設での研修を取り入れた3年間のプログラムにより、小児科専門医として必要な考え方や技術の獲得が可能です。私たちと一緒に、頑張りましょう。



小児科専門研修プログラム統括責任者
星合 美奈子

育成プログラムの概要



目指せ!子どもの総合医

最初の半年間は当院で基本的な小児科診療を研修し、続く半年間は山梨大学小児科で慢性疾患や希少疾患の診療を中心に研修します。2年目以降は地域連携病院で1年間地域の小児医療の研修を行い、残りの1年間は当院で希望を考慮しながら小児科・新生児内科での柔軟な研修プログラムを組んでいきます。各施設の特徴を活かした小児医療全般の研修を通して、体だけでなく心や家族などの社会的背景まで含め、全人的に診療する小児科医としての基本技能が3年間で身につきます。サブスペシャリティを持つ指導医や先輩方が多く在籍する環境は自分の未来像を描くことにもつながります。

年 月	1年次				2年次				3年次			
	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30	33	36
専攻医A	小児科	山梨大学	山梨大学	山梨大学	地域連携施設	山梨大学	山梨大学	山梨大学	小児科/新生児内科	小児科/新生児内科	小児科/新生児内科	小児科/新生児内科
専攻医B	小児科	山梨大学	山梨大学	山梨大学	小児科/新生児内科	小児科/新生児内科	小児科/新生児内科	小児科/新生児内科	地域連携施設	地域連携施設	地域連携施設	地域連携施設

山梨県立中央病院小児科専門研修プログラム 研修モデル



産婦人科医からのメッセージ

研修生の積極的に取り入れる、2024年度から運用の新プログラム。
各領域のサブスペシャリティ取得が可能です。

当院は日本産婦人科学会の研修施設であるだけでなく、日本産科・新生児医学会、日本超音波医学会、日本産婦人科内視鏡学会、日本婦人科腫瘍学会の研修施設に認定されており、各領域のサブスペシャリティ取得が可能です。募集人数は3名です。2024年度から運用の新しいプログラムなので、研修先や研修内容などの希望や提案を積極的に取り入れ、常に専攻医の先生とともにプログラムを成長させていきたいと考えています。



産婦人科専門研修プログラム責任者
坂本 育子

育成プログラムの概要

県内唯一の総合周産期センター
婦人科ロボット手術の件数も国内有数!!

山梨県内唯一の総合周産期センターとして、年間に約90件の母体搬送を受け入れています。NICUと連携し、妊娠高血圧症候群、切迫早産、多胎妊娠、胎児発育不全といったハイリスク症例を中心に年間約700件の分娩管理を行っています。また、婦人科の手術は年間500例以上あり、ロボット手術の件数は国内でも有数の施設です。さらに婦人科悪性腫瘍手術も県内で最も多く行っており、良性、悪性腫瘍の手術修練として十分な施設となっています。

1年当院での研修を行ったのち、1年大学病院での研修、また地域での研修が基本となりますが、県外の施設とも連携が可能です。3年目はこれまでの研修内容と希望を相談の上、どのような研修施設が良いかを決定します。



整形外科医からのメッセージ

高度救命救急センターとの連携により豊富な外傷症例を経験。
上級医の指導のもと多くの症例を執刀できる。

当院の整形外科は医師11名(日本整形外科学会専門医6名)の体制で、整形外科のはば全分野に対応しています。2020年4月より脊椎専門医と運動器腫瘍専門医が加わりさらに充実した研修が可能となりました。専門医を目指す若手整形外科医も多く勤務しており、同年代で切磋琢磨できる環境が整っています。年間の手術件数は約1,000件、三次救急を扱う高度救命救急センターがあるため外傷患者が多く、上級医の指導のもと多くの手術症例を経験することができます。



整形外科地域専門研修プログラム統括責任者
佐久間 陸友

育成プログラムの概要



外傷のスペシャリストを目指して

整形外科の分野は幅広く、慢性運動器疾患やスポーツ障害・外傷および労働災害や交通事故によって発生する運動器疾患に関して、診断、治療ならびにリハビリテーションなどを適切なタイミングで実行する必要があります。当院では特に、三次救急を扱う救命救急センターと連携して、脊椎外傷や重度四肢外傷の症例を数多く経験することができます。その中で患者さんの回復(未来)を最大限引き出せるような治療介入ができる整形外科医の育成を目指しています。



精神科医からのメッセージ

精神科医療の基幹的病院
地域医療の実績、リサーチマインド

北病院の研修では、bio-psycho-socialな視点から、多職種スタッフとともに、精神科医としての知識や経験、対応力を身につけていきます。治療に難渋する患者さんの回復への道を試行錯誤する過程も体験しながら、精神科の高度治療(mECT, クロザピン)や心理療法を使いこなせるようにします。指定医レポート症例を無理なく経験でき、症例発表や学会発表を通してリサーチマインドを高める指導体制も充実しています。予備知識ゼロからでもスタート可能です!



精神科専門研修プログラム統括責任者
宮田 量治

育成プログラムの概要



初年度はオーブンネーベン制によるきめ細かい指導からスタート 本格的臨床研究を含めたリサーチマインドの醸成

北病院は、精神科医として第一歩を踏み出そうとしている若いドクターの皆さんにはうってつけの病院です。当院を受診する患者さんは、急性期から慢性期、思春期から認知症例まで幅広く、精神科医として経験すべき精神障害が網羅されています。山梨県の精神科医療の基幹的病院でありながら、地域医療の実践の場ともなっているのが当院の特徴です。研修では、オーブンネーベン制によるきめ細かい指導が特徴です。

梅田 浩介

救急科 専攻医

私は当院で初期研修を終え、現在は高度救命救急センター専攻医として勤務しています。当センターは山梨県唯一の救命救急センターであり重症患者が常に搬送されています。県全域をカバーするためドクターヘリやドクターカーを利用した病院前診療から迅速な蘇生、手術、IVR、集中治療管理まで24時間365日対応できる自己完結型の救命センターを目指し、実践しています。

また当センターには多彩なサブスペシャリティを持つ医師が多く在籍しています。私も脳外科班、IVR班に在籍しており術者や集中治療管理、術後管理など多くの症例を経験しながら学ぶことができます。関連施設も多く、希望すればER診療などに関しても十分に学ぶことができる点も大変な強みです。

是非一度、見学に来ていただければと思います。重症患者が集約される当センターで救命を目指して一緒に働きましょう！



中本 叶泰

消化器外科 専攻医

私は県外での初期研修を終え、当院の外科プログラムを選択しました。現在は外科専門医2年目として勤務しております。

当院はがん診療拠点病院であり、3次救急を受け入れ可能としている県内の最後の砦としての役割もあり、数多くの症例が集まります。症例が分散する都内などの研修より多少忙しくても様々な経験を積むことができる当院でのプログラムを選択しました。悪性疾患から良性疾患、緊急手術など数多くの手術を執刀しています。また術前・診断から術後の管理や緩和ケア治療まで、手術以外にも様々な治療を経験できます。科内の雰囲気も良く、いつでも上級医に相談でき指導を受けることで、知識・手技ともに修得することができ、非常に充実した外科医生活を過ごしています。

ぜひ一度当院へ見学に来てください。皆様と一緒に働くことができる日を楽しみにしています。



井上 拓也

呼吸器内科 専攻医

私は当院で初期研修を2年間行いました。その後他院内科専門研修プログラムに参加し都内で2年間呼吸器内科診療を行い、本年よりプログラム連携施設の当院へ戻って参りました。都内で2年間働いていた病院は地域がん診療連携拠点病院で、肺がん患者さんも診させて頂いておりました。当院は本年からがんゲノム医療拠点病院へ指定され、県内のがん患者さんの多くが当院での治療を行っており、前施設よりもステップアップして肺がん診療に携われていると感じます。また当院は県内唯一の結核病床も有しており結核の初期治療なども担います。本年からクライオ生検も行っていく予定であり間質性肺疾患の診断・治療も県内では先端を進んでいくことになると思います。

忙しい毎日ですが、上級医の先生方にも気兼ねなく相談ができ、多くの疾患を経験できる環境が整っております。ぜひ一度見学にいらしてください。



朝比奈 佳毅

消化器内科 専攻医

私は当院で初期研修を行い、当院の内科プログラムを選択し今年度より消化器内科に勤務しています。当院はがんゲノム医療拠点病院に指定されているほか、救急の受け入れも積極的に行っており多くの患者さんが来院されます。消化器内科は良性・悪性を問わず多臓器の幅広い疾患を担当し、急性期から終末期まで様々な患者さんの診療にあたります。内視鏡のほか経皮的ドレナージ、血管造影など手技の幅が広いことも特徴です。

当院の専門研修では多くの症例に触れることができ、医師としてのスキルアップのためのもとも良い環境と考えています。1年目から治療を含む上下部内視鏡などの手技を多く経験できることも魅力的です。

是非一度当院に見学にいらしてください。皆様と一緒に働ける日々を楽しみにしています。



快適な仕事環境・福利厚生施設

■ 医局



■ 図書室 (PCスペース・ミーティングスペース併設)



■ 県立中央病院レジデントクォーター

- 住所 甲府市富士見1丁目4番11号
- 建設工事費 2億500万円 (本体工事費 1億9,300万円 設計・管理費 1,200万円)
- 構造規模 鉄筋コンクリート造3階建て
- 内部仕上 32.58㎡/室×24室
- 設備 床/フローリング 壁・天井/石膏ボード+ビニルクロス システムキッチン (IH式)、水洗トイレ、ユニットバス、洗面化粧台
- 入居料等 26型液晶テレビ、ルームエアコン、木製ベッド
入居料 12,940円/月、共益費 1,500円/月、駐車料 2,160円 計 16,600円

■ 中央病院DATA (2023年4月1日現在)

[看護体制] 7対1看護

[入院患者数] 456人 (令和4年度一日平均)

[外来患者数] 1,228人 (令和4年度一日平均)

[指定病院] 高度救命救急センター、救急告示病院、基幹災害拠点病院、第1種感染症指定医療機関、総合周産期母子医療センター、臨床研修指定病院、エイズ治療拠点病院、がんゲノム医療拠点病院、がん診療連携拠点病院地域医療支援病院ほか

[診療科] 総合診療科・感染症科、女性専門科、呼吸器内科、消化器内科、糖尿病内分泌内科、血液内科、循環器内科、腎臓内科、リウマチ・膠原病科、神経内科、精神科、小児科、皮膚科、産科、婦人科、新生児内科、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、小児外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、口腔外科、麻酔科、緩和ケア科、放射線科、病理診断科、高度救命救急センター

2024 募集要項

初期研修医

■ 募集定員

総合研修プログラム 21名
産婦人・小児科重点プログラム 4名

■ 応募手続

詳しくはホームページをご確認ください。
(採用試験は2回に分けて行います)

■ 応募期間

令和5年6月13日～令和5年8月18日

■ 選考方法

・書類審査
・面接

■ 採用の決定

選考結果をマッチング協議会に登録し、その結果により採用を内定します。

■ 処遇

■ 身分 研修医
(会計年度任用職員)
■ 給与 1年次 303,600円(月)
2年次 313,300円(月)
このほか、時間外手当、当直手当、賞与等が付加されます。

■ 宿舍 有
■ 社会保険 有
※制度改正により変更の可能性あり

■ 採用までのスケジュール

6月 8日(木) マッチング参加登録受付
7月 21日(金) 第1回選考試験応募受付
7月 30日(日) 第1回選考試験
8月 3日(木) マッチング参加登録受付
8月 18日(金) 第2回選考試験応募受付
8月 27日(日) 第2回選考試験
9月 14日(木) マッチング希望順位登録受付開始
9月 29日(金) マッチング中間公表
10月 12日(木) マッチング希望順位登録受付
10月 26日(木) マッチング組み合わせ結果発表

専攻医

■ 募集定員

内科専門研修プログラム 6名
外科専門研修プログラム 4名
救急科専門研修プログラム 5名
総合診療専門研修プログラム 2名
小児科専門研修プログラム 2名
産婦人科専門研修プログラム 3名
整形外科専門研修プログラム 2名
精神科専門研修プログラム 4名

■ 応募手続

(一社)日本専門医機構により定められた方法に従います。
出願書類は次の通りです。
書類は郵送または持参してください。

■ 出願書類

- ・願書(当院様式)
 - ・履歴書1(当院様式)
 - ・履歴書2(当院様式)
 - ・健康確認書(当院様式)
 - ・医師免許証の写し
 - ・臨床研修修了証または修了見込証明書
- ※当院ホームページからダウンロード可能。

■ 応募期間

日本専門医機構の定めた期間による

■ 選考方法

・書類審査
・面接

■ 採用の決定

専攻医登録システムにて採否の登録をいたします。

■ 処遇

■ 身分 専攻医
(会計年度任用職員)
■ 給与 1年次 444,500円/月
2年次 480,300円/月
3年次 525,800円/月
このほか、時間外手当、当直手当、賞与等が付加されます。

山梨県立中央病院のご案内と病院見学

■ 病院見学を希望される方

当院ホームページより「病院見学申込書」をダウンロード
必要事項記入の上、下記連絡先までお申込みください。
※申込みの受付は、土日・年末年始・GWは除きます。
※日程調整の都合上、見学希望日の7日前までにお申込みください。

県立中央病院

〒400-8506 甲府市富士見1丁目1-1
055-253-7111(代)

県立北病院

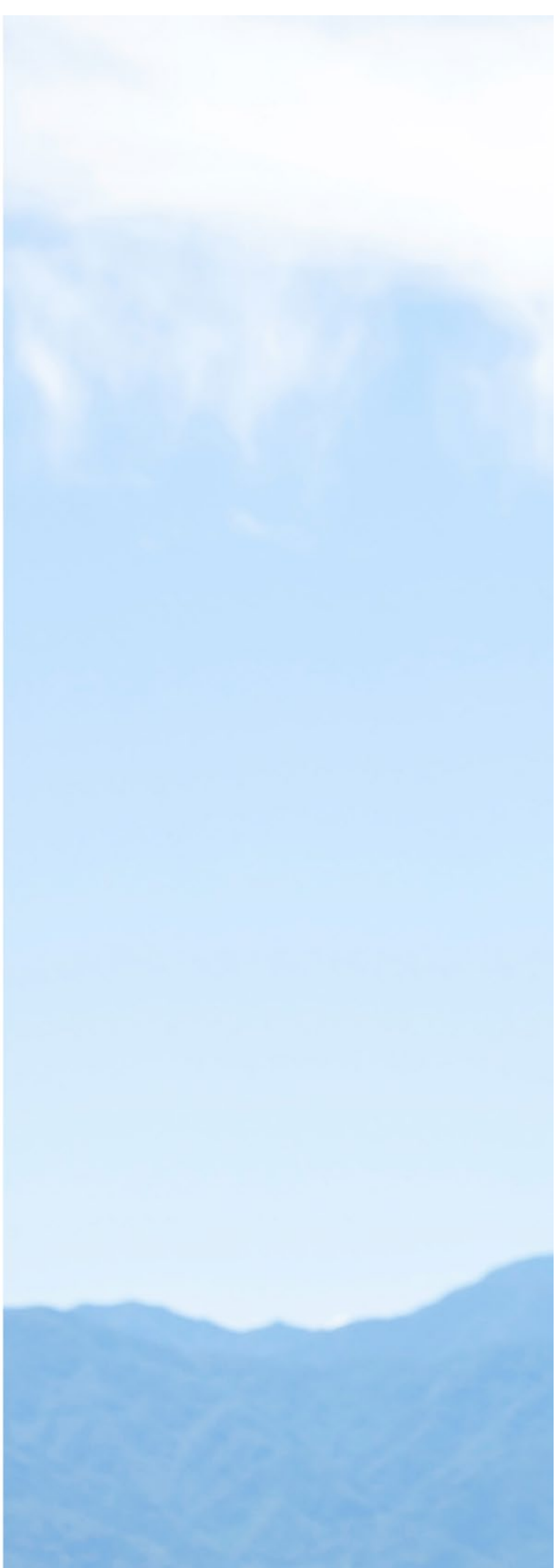
〒407-0046 韮崎市旭町上條南割3314-13
0551-22-1621(代)

JRご利用の場合

新宿 中央本線 特急あずさ・かいじ 甲府(約1.5時間)
松本 中央本線 特急あずさ 甲府(約2.5時間)
静岡 身延線 特急ワイドビューふじかわ 甲府(約1.5時間)

※甲府駅からタクシーで5～10分





地方独立行政法人
山梨県立病院機構

YAMANASHI PREFECTURAL HOSPITAL ORGANIZATION

〒400-8506 山梨県甲府市富士見1丁目1番1号
TEL:055-253-7111(代) FAX:055-253-8011

研修医・専攻医募集案内

<https://www.ych.pref.yamanashi.jp/kiko/>



病院見学



初期研修



専門研修